

初秋令月

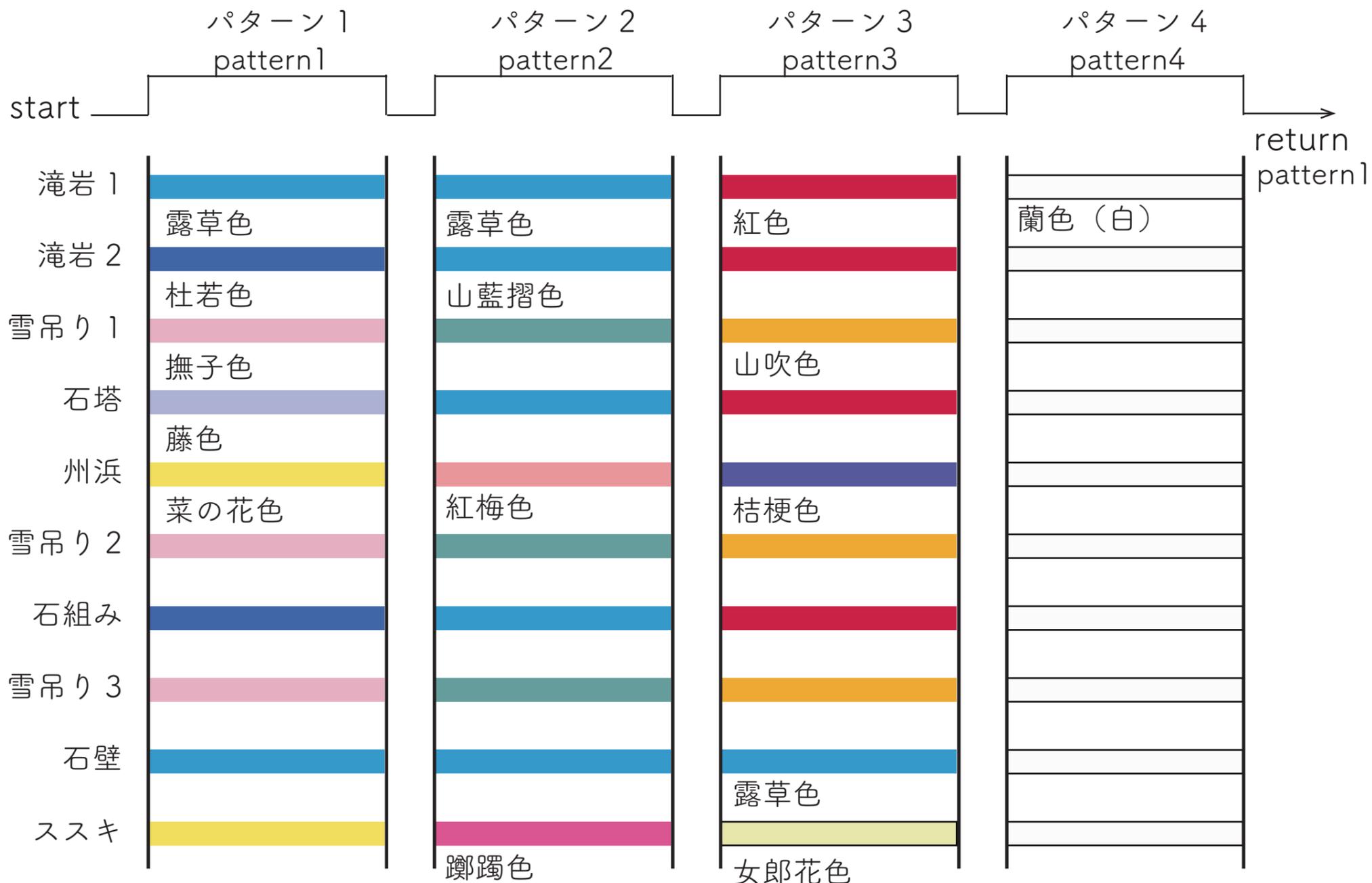
作成者：菅野祐帆
(ライティングデザインスクール)

令和元年となり、オリンピックを翌年に控える2019年。「日本らしさ」を軸に照明計画を提案したいと考えました。新元号・令和は元号史上初めて日本の古典文学が出典とされています。元号のもとになった「初春令月にしてー」の歌をはじめとして、万葉集では四季や自然を愛する歌が数多く詠まれています。この万葉集から着想を得て、「万葉集の色彩」と「自然を尊ぶ思想（アニミズム）」をテーマに照明計画を行いました。アニミズムとは日本古来から存在する、自然界のあらゆるものに霊が宿るとする考え方です。紅葉の鮮やかな色を活かしながら、木々や岩、水等の自然物に焦点を当て、万葉の色彩で柔らかく照らし出します。

This year is The first year when the era changed. We refrain from The worldwide event The Orympics next year. I would like to propose a lighting plan based on the "Japaneseness". A source of the era "Reiwa" is Manyousyu that there are many Waka(Japanese poems) expressed love for nature and seasons. Inspired from here, I planned lighting on the theme of the colors of Manyousyu and thoughts that honor nature. Focuses on natural objects such as trees, rocks and water, and softly illuminates with the colors of Manyousyu with autumn leaves.

色の移ろい

ライトアップは4つの色パターンで構成されています。色の移り変わりを四季の変化になぞらえて計画しました。ここでは色の構成を図で説明いたします。(色の詳細は右をご覧ください)



万葉集と色

万葉集には、季節の移ろいや自然の美しさを詠んだ歌が多く存在します。そのため、万葉集に登場する色は、植物や空など自然の中に存在するものを表す色、染物に使用されていた色等が多く見られます。古来より日本人に愛されてきた色ということもできるでしょう。その中から今回のライトアップで使用している色について、万葉集の歌とともにご紹介いたします。

杜若色 Iris laevigata

5～6月に咲く紫の花にちなんだ色。古典園芸植物の一つ。



“常ならぬ 人国山の秋津野の
かきつはたをし夢に見しかも”

山藍摺色 Mountain indigo color

染料植物の山藍で摺り染めた布の色で、灰色がかった青緑色。



“あしひきの山あいにすれる衣をば
神につかふるしるしぞと思ふ”

露草色 Commelina communis

早朝に咲く露草 つゆくさの花にちなんだ明るい薄青色。



“月草のうつろひやすく 思へかも
わが思ふ人の 言も告げ来ぬ”

紅梅色 Red plum color

早春に咲く紅梅の花の色のようなやや紫みのある淡い紅色。



“初春の令月にして気淑く風和らぎ
梅は鏡前の粉を披き蘭は珮後の香を薫す”

撫子色 Pink/Dianthus

撫子の花のような少し紫みのあるピンク系統の薄い赤色。



“野辺見れば 撫子の花咲きにけり
我が待つ秋は 近づくらしも”

躑躅色 Azalea

赤い躑躅の花のような、鮮やかな赤紫色。



“水伝ふ磯の浦みの岩つつじ
茂く咲く道をまたも見むかも”

藤色 Wisteria

藤の花からきた色名で淡い青みのある紫色。古くから馴染み深い色。



“藤波の花は盛りになりけり
平城（なら）の京（みやこ）を思ほすや君”

女郎花色 Patrinia scabiosifolia

秋に咲く女郎花の花のような明るい緑みのある黄色。



“我が里に今咲く花のをみなへし
堪えぬ心になほ恋ひにけり”

菜の花色 Canola blossom

油菜 あぶらな の花色のような明るく鮮やかな黄色。



“川上に洗う若菜の流れ来て
妹があたりの 瀬にこそ寄らめ”

山吹色 Bright yellow

山吹の花のような鮮やかな赤みを帯びた黄色。



“花咲きて実はならねども長き日に
思ほゆるかも 山吹の花”

紅色 Red

紅花の濃染による鮮やかな赤色。中国から伝わった「呉藍」が由来。



“春は萌え 夏は緑に 紅の
まだらに見ゆる 秋の山かも”

桔梗色 Bellflower

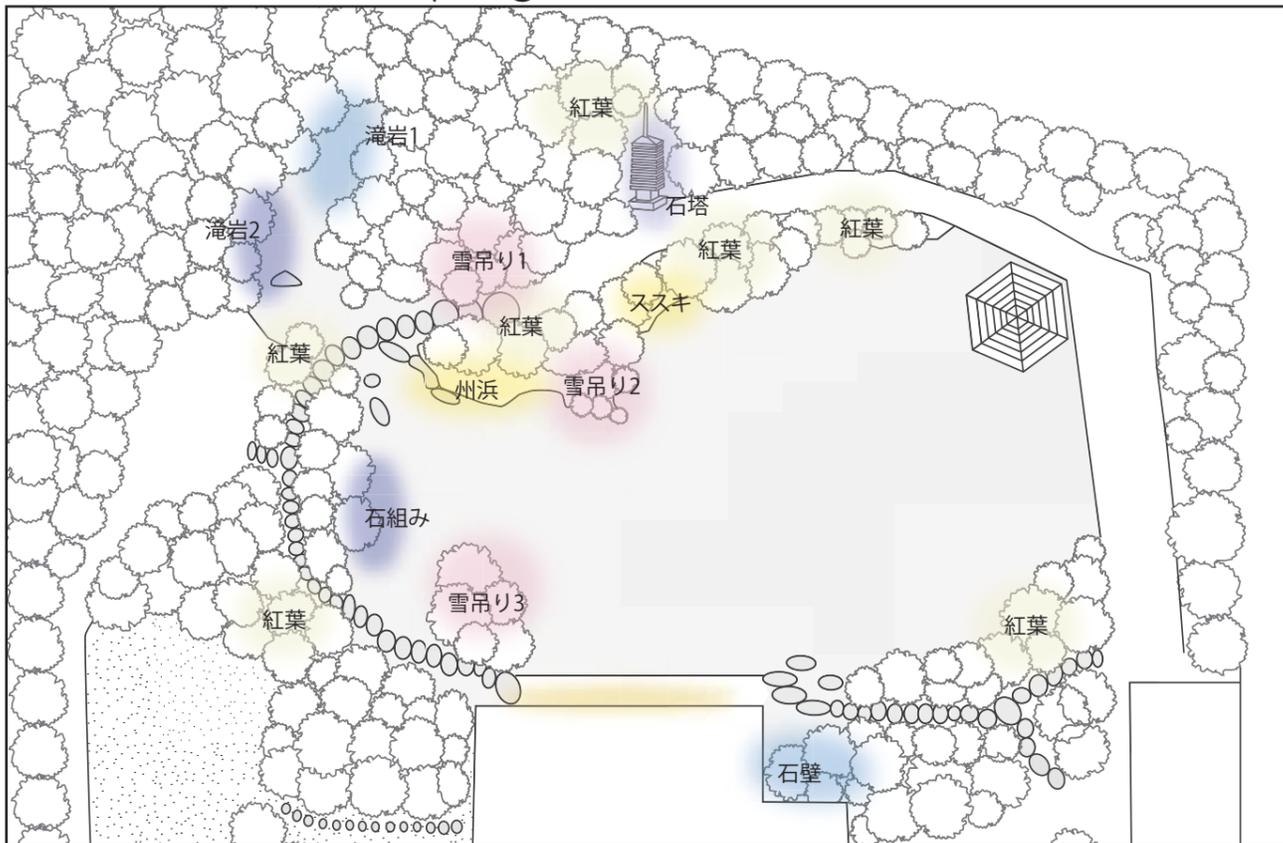
桔梗の花のような青みを帯びた紫色。万葉集では朝顔と呼ばれている。



“朝顔は朝露負ひて咲くといへど
夕影にこそ咲きまさりけり”

配色

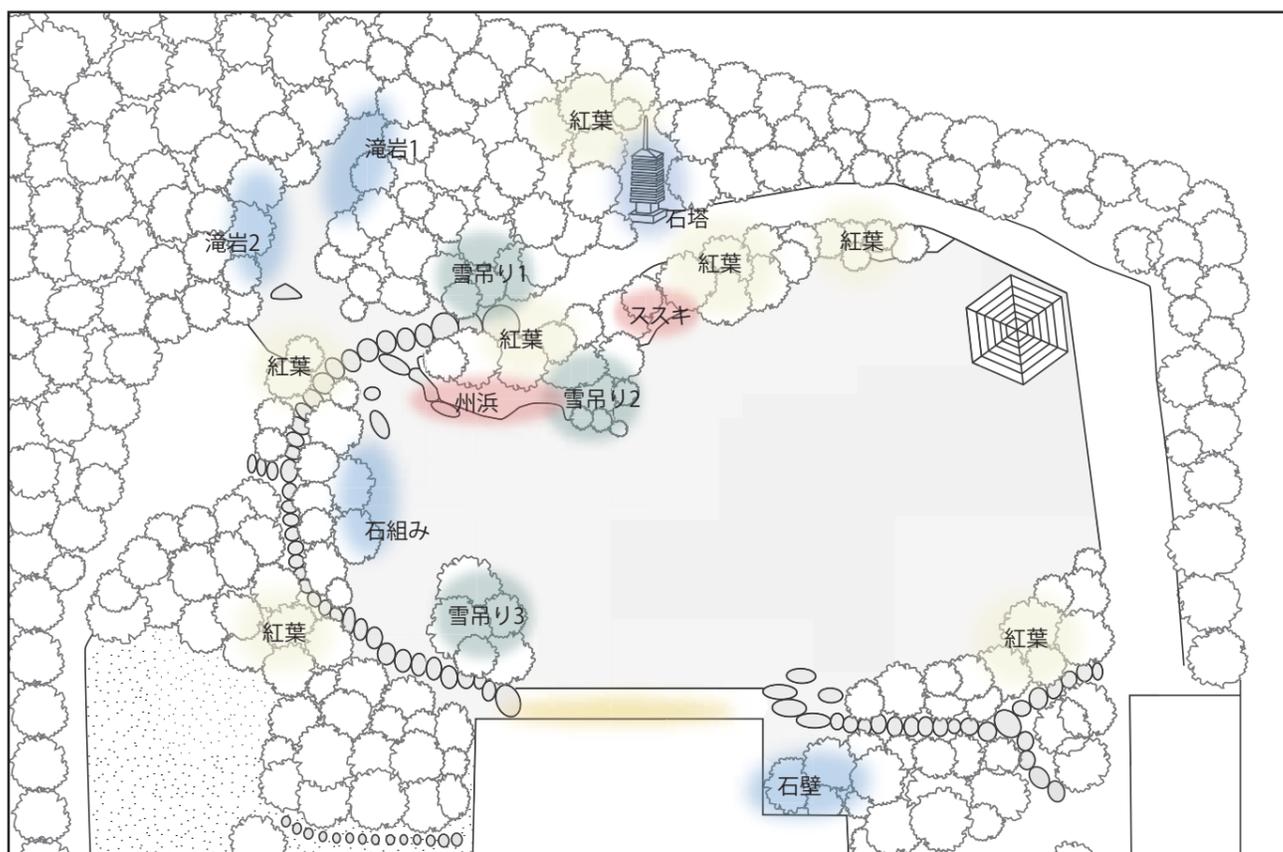
パターン1：春 Spring Scean



- 露草色 Commelina communis
- 杜若色 Iris laevigata
- 撫子色 Pink/Dianthus
- 菜の花色 Canola blossom
- 藤色 Wisteria

春の爽やかさをイメージし、淡い色彩でまとめました。パターン4からの移り変わりで、雪が溶けて色づき始める春の訪れを表現しています。

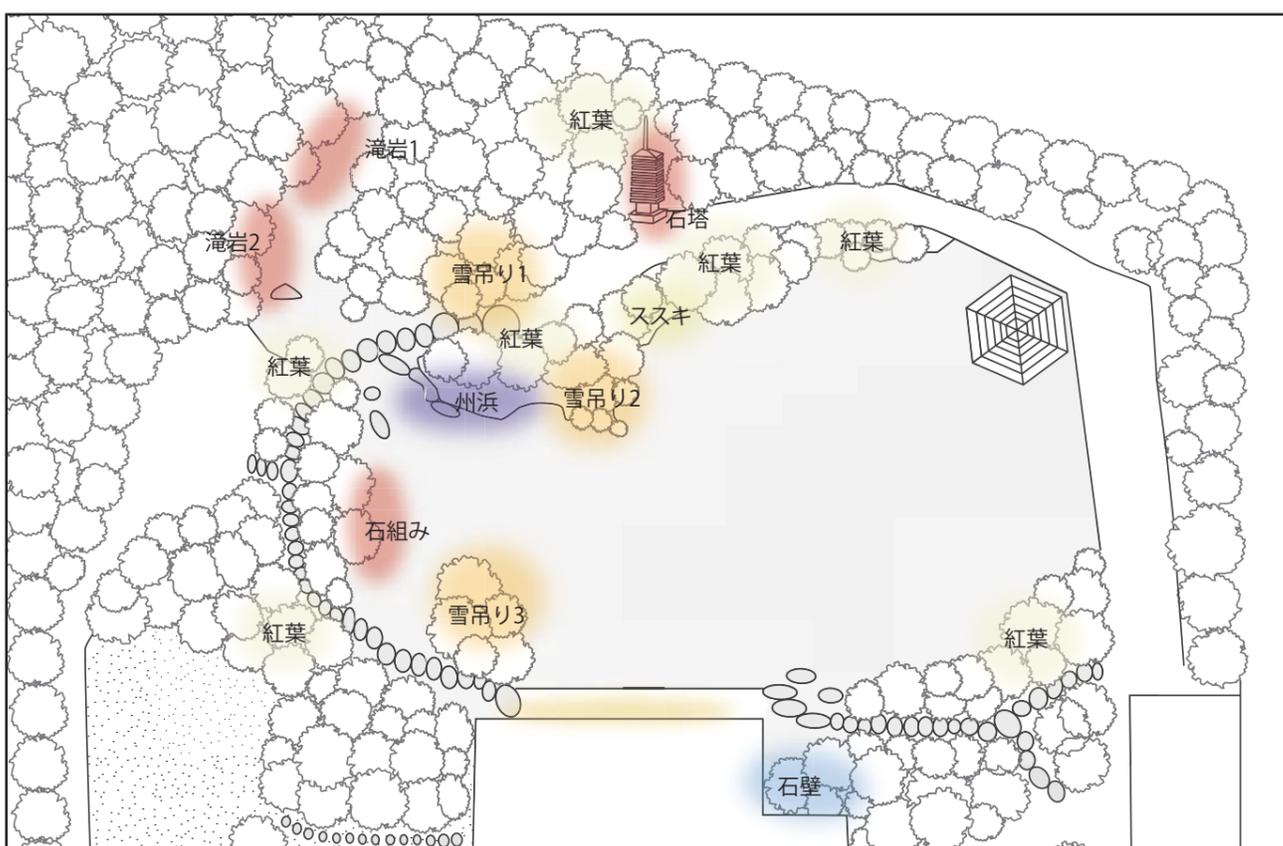
パターン2：夏 Summer Scean



- 露草色 Commelina communis
- 山藍摺色 Mountain indigo color
- 躑躅色 Azalea
- 紅梅色 Red plum color

夏の瑞々しさと鮮やかさをイメージして配色しました。全体を寒色系でまとめ、鮮やかな躑躅色をアクセントに加えています。

パターン3：秋 Autumn Scean



- 露草色 Commelina communis
- 山吹色 Bright yellow
- 女郎花色 Patrinia scabiosifolia
- 紅色 Red
- 桔梗色 Bellflower

色づいた秋をイメージし、紅色と山吹色をメインにした配色にしています。紅葉の色彩と合わせてお楽しみください。